

『PCA 医療法人会計シリーズ』バージョン1.0、リビジョン6.10 プログラムでの主な機能強化・仕様変更点

KDH230707

※『PCA Client-API』や他のカスタマイズ(アドオン)プログラムをご利用のお客様は、アップデート後のカスタマイズプログラムの動作への影響について、事前にご確認ください。

動作に問題ないことを確認後、アップデートを実行してください。

■互換性に関する変更点の有無について

◇データ領域の更新について

データ領域のバージョンを「7.27」に更新しました。

以下のデータ構造を変更しました。

- ・法人基本情報
- ・補助科目(結合)
- ・税区分
- ・法人口座関連科目
- ・取引データ
- ・取引データ項目設定

以下のテーブルを追加しました。

- ・取引データ税内訳情報
- ・デジタルインボイスeDoc連動
- ・デジタルインボイス登録情報
- ・受信デジタルインボイス
- ・受信対象デジタルインボイス

新規領域作成時に登録するデータを追加しました

- ・税区分

◇APIの変更について

以下のデータ構造を拡張したため、エンティティバージョンを更新しました。

- ・法人基本情報(エンティティバージョン「200」)
- ・補助科目(エンティティバージョン「200」)
- ・税区分(エンティティバージョン「300」)

◇汎用データの変更について

以下の汎用データレイアウトを変更しました。

- ・法人基本情報(Ver6)
- ・補助科目(Ver7)
- ・法人口座(Ver8)
- ・取引データ(Ver6)

■ 主な機能強化・仕様変更点

操作等の詳細については、オンラインヘルプ、またはPDFマニュアルをご覧ください。

※ご利用のシステムにより、一部ご利用になれない機能があります。

◇ インボイス対応

- ・「法人基本情報の登録」に「事業者登録番号」を追加しました。
- ・「法人基本情報の登録」に「免税事業者等からの課税仕入れの経理方法」を追加し、入力時に自動計算するか手動で調整するかを選択できるようになりました。
- ・「補助科目の登録」に「事業者区分」「事業者登録番号」を追加し、適格請求書発行事業者と免税事業者等を区別できるようになりました。
また、「適格請求書発行事業者公表システムWeb-API」を通じて事業者情報の確認と一括更新ができるようになりました。
- ・「補助科目の登録」で「補助科目名」「法人番号」を基に「法人番号システム Web-API」を通じて情報をセットできるようになりました。
- ・「汎用データの受入」で「補助科目マスター」を受け入れる際、既存データに上書き受入できるようになりました。
- ・経過措置用の新しい税区分を追加し、「振替伝票入力(コクヨ式)」などで経過措置用の税区分を自動で読み替えるようになりました。
- ・「振替伝票入力(コクヨ式)」などの「マスター参照」機能で「事業者登録番号」「経過措置を適用する旨」を摘要文に追加できるようになりました。

◇ デジタルインボイス対応

- ・「デジタルインボイスの利用申請」「デジタルインボイスの受信」を追加し、デジタルインボイスを受信できるようになりました。
- ・「クイック取引受入」の受入対象に「デジタルインボイス」を追加し、デジタルインボイスから「クイック取引受入」「クイック仕訳転送」を通じて仕訳を転送できるようになりました。

◇ クイック処理の機能強化

- ・複数の税率が混在する証憑も容易に入力できるようになりました。
- ・発生日が「YYYY/MM/DD」形式の値も取込可能になりました。

◇ 独自認証におけるシステムユーザーのパスワードポリシー強化

- ・「システムユーザー管理設定」に「登録を許可するパスワード強度」項目を追加しました。
- ・「システムユーザーの登録」でのシステムユーザー作成、修正時にパスワード強度を表示する機能を追加しました。
- ・「システム領域の作成・更新」でのシステム管理者作成時にパスワード強度を表示する機能を追加しました。

◇ 「ファイル」 - 「データ領域のバックアップ」「データ領域の一括バックアップ」「データ領域のリカバリ」「データ領域の一括リカバリ」

- ・『PCA Hub eDOC』へのバックアップが可能になりました。

◇ 「銀行処理」 - 「銀行振込依頼書」

- ・手数料後払いに対応しました。

以上